



サイファーテック社の田植え祭りで
昆虫観察(日和佐・田井)

(撮影：張野晴伸氏)

美波町 議会公報

3月議会の審議	2
平成28年度当初予算	3
常任委員会審議	4
各議員の賛否	6
議長の活動	8
一般質問	9
「あの答弁、ほのあとどないなっとな!？」	15
住民の生の声を	16
議会報告会	18
頑張る人!!	20

第40号

平成28年3月定例会



岩瀬議長不信任決議(案) 否決

3月議会の概要

平成28年3月議会は、3月9日から3月18日まで、10日間開催した。影治町長より、12月議会以降の町政の進捗状況及び、報告1件、専決議案1件、計画議案3件、協定変更議案1件、管理者指定議案2件、町道議案2件、条例議案9件、補正予算議案7件、当初予算議案12件、契約議案1件について提案理由の説明があった。広報委員会より「岩瀬議長不信任決議」議員より「森林・林業政策の推進を求める意見書」の提案があった。

議案審議

◆ 決議第1号 岩瀬議長不信任決議(案)

提案者 議会広報特別委員会
委員 長 北山 朝彦
賛成者 議会広報特別委員会
副委員長 永本善次郎
委員 戎野 博
委員 中川 尚毅

● 提案理由説明

- ① 全員協議会で、法的手続をとらず傍聴者を退席させた。
- ② 投稿者に、文面の変更を強く求め変更させた。
- ③ 広報委員会に相談もなく広報誌の印刷を止めた。
- ④ 住民の、「議会だより報告会」出席要請に、一度も応じず議長の職責を果たしていない。
- ⑤ 広報特別委員会に出席しないのは、発行責任者として職務怠慢である。
- ⑥ 「法令順守の議会運営」の要請に回答しない。
- ⑦ 議長として出席した会議内容を議会に報告せず、報告要請にも応じない。

以上により、美波町議会の信用失墜に発展することを危惧する。

● 討 論

反 対 寺下議員

今回の広報に関し、委員会の協議の中で修正された部分は現実ある。私は、「編集委員の主観が強い部分があり広報としてふさわしくない」と全員協議会で発言した。

議長は、広報発行に関し協議の場を設けたので、ワンマンプレーで止めたということと少し違うと考える。今後も協議の場を設ける姿勢を続けてもらえると受け止め反対する。

賛 成 中川議員

議会から任されている広報特別委員会を差しおいて、独断で議会だよりの印刷を止めたことは、間違った行為である。

投稿者に、文面の変更を強く求めたことは、投稿者の表現の自由を抑えるとともに、町民の知る権利をも侵害する重大な行為であり、

反省を求める。

賛 成 戎野議員

住民からの投稿で、『：議会の会議は原則公開である、特例として秘密会にする場合は定められた手続きに従い記録もあるはずである。その記録がないのであるから秘密会も成立していない、秘密会にすると宣言して傍聴者を退席させた議長の処置は果たして正当か否か？議会不信を招かないためにも十分に検討すべき問題と思う』という傍聴者からの感想・要望意見が広報に載ることに異を唱え印刷を止めた。

秘密会にするのであれば法的手続きによる対応を取るべきだ。委員会に話す前に印刷を止めた行為は編集発行権への越権行為である。投稿された意見に再三、書き直しを命じたのは表現の自由、知る権利を侵害するものである。

法令にのつとらず住民の信頼を失う行為であるので、議長不信任に賛成する。

賛 成 永本議員

議会だよりに、住民から投稿された文面の変更を強く求めて再投稿させた岩瀬議長の行為は、言論・報道・表現の自由を保障した日本国憲法に違反する重大な人権侵害事件である。

投稿文が議長自らの思いにそぐわないことを理由に、広報委員会になんの相談もなく印刷をストップさせ、発行を1カ月も遅らせた行為は美波町議会の最高責任者である議長にあるまじき住民への背信行為である。今回投稿者の指摘は、議長の議会運営の稚拙さを指摘されたものであり、投稿文の変更を強く要求した行為は重大な人権侵害である。私は、議長の猛省を促し、法令順守の議会運営を強く求めて賛成する。

採 決 結 果

賛成少数で否決
(賛成4…反対6)

高校生まで医療費無料

平成28年度
当初予算

■ 目的別町民一人当たりの予算額 [一般会計・金額の多い順]

() 内は昨年度の数値



① 衛生費 ▲
29万5040円
医療保険センター建設費・高校生まで医療費無料等



⑤ 土木費 ▲
7万6511円
高台整備事業(新)、全体では増額



② 民生費 ▲
20万7391円
臨時福祉給付金が昨年より増額



⑥ 教育費 ▲
7万6014円
総合体育館防水工事・かめバス購入:指導書(教科書改訂)購入



③ 総務費 ▼
10万3461円
旧東町駐在所購入費・参議院議員選挙費(新)、全体では減額



⑦ 消防費 ▼
5万695円
事前復興計画策定委託料(新)全体では減額



⑨ 商工費 ▲
1万3488円
地方創生事業費(新)で増額



④ 公債費 ▲
9万3300円
町の借入費の返済、人口減で増額



⑧ 農林水産費 ▼
3万204円
地方創生事業費(新)、国土調査費



⑩ 議会費 ▼
9032円
共済費で減額

町民一人当たりの予算額
97万2741円(89万4013円)
一世帯あたりの予算額
205万8565円(192万4528円)

平成28年3月31日現在人口
(外国人を含む) …………… 7,227人
平成28年3月31日現在世帯数
…………… 3,415世帯

■ 特別会計

	予算額	前年度比較	増減の主な理由
国民健康保険事業	12億3337万円	▲6064万円	療養費・共同事業拠出金が減額
育英奨学金事業	1740万円	▲204万円	貸付金の減額
赤河内財産区会計	941万円	0	
簡易水道事業	3億7148万円	3億1167万円	由岐配水池更新工事で増額
漁業集落排水事業	2257万円	56万円	
公共下水道事業	1億1268万円	▲3941万円	寺前ポンプ場委託料の減・公債費(元利)の減
介護保険事業	12億3623万円	973万円	地域支援事業の増
診療所会計	2億3497万円	2億66万円	日和佐診療所と阿部診療所が合併
後期高齢者医療会計	1億4305万円	197万円	広域連合給付金(保険料)の増

■ 公営企業会計

		予算額	前年度比較	増減の主な理由
水道事業	収益的支出	8373万円	73万円	
	資本的支出	5961万円	▲128万円	配水設備工事費等で減額
	事業費用支出合計	1億4334万円	▲55万円	
病院事業	収益的支出	7億4239万円	▲2億3793万円	新病院になり医業費用が減額
	資本的支出	0.3万円	▲15億4445万円	病院完成により減額
	事業費用支出合計	7億4240万円	▲17億8238万円	

総務産業建設委員会

◆報告1号 道の駅日 和佐の事業報告

○ 永本委員
経営コンサルタントによる問題点の洗い出しはできたのか。

○ 小坂産業振興課長
前年度、経営診断で基本的な問題の洗い出しをした。道の駅と連携し、少額の投資で改善可能な部分から取り組む。

◆議案4号 過疎地域 自立促進計画の策定

○ 岩瀬議員
日和佐川、永田橋付近に公衆トイレを置いているが、毎年そのように進めていくのか。

○ 永本委員
夏休み、永田橋直下や下流で100人余りの人が来ており簡易トイレでは対応できず公衆トイレが必要になっている。その対策を考

えてもらいたい。

○ 小坂産業振興課長

この計画の目的が、過疎債を起す基礎となる計画ということでの理解願いたい。

○ 戒野議員

この計画の中に議会決議がなされているテレビ中継が含まれていない。町長は、全く進める意志はないのか。

○ 影治町長

テレビ中継を進めるといふ段階になった時に、この計画は変更することができる。

よるマイナスだ。

○ 向山委員

集落支援員報償費で、昨年の実績も踏まえ、本年度はどのように充実活用させていくのか。

○ 磯野総務企画課長

前年は、移住コーディネーターの集落支援員として位置づけていた。今年度は、地域の課題に対応するべき集落支援員を地域ごとに配置して、課題解決できればということでの予算取りしている。

平成26年実施の住民意向調査をもとに、地域懇談会を開催して被災後の土地利用について検討して行く。

◆議案36号 水道事業 会計

○ 永本委員
平成26年度決算で800万円の水道使用料の未収金がある。年間事業費の1割に達しているが、どうするのか。

○ 中林水道課長

現在未納通知を送付して、3人の職員で1日3件から5件の徴収を進め、真面目な利用者の不満を解消していく。

○ 向山委員

イベント(まけまけマルシェ等)での使用料徴収はどうしているのか。

○ 森本道の駅長

手数料は、平日と土日祝祭日に分け、テントはマルシェ側が用意している。土日・祝祭日は1000円、平日は500円徴収している。



道の駅のイベント

◆議案26号 一般会計 予算

○ 松本委員

歳入で固定資産が673万円減、町税の個人・法人が総合で703万円減の原

因は。

○ 豊崎税務課長

個人の住民税は、毎年課税者の人数が約50人ぐらい減っており、それによる減。法人税は昨年10月の法人税割の変更に伴う減。固定資産税は土地の評価と償却資産の評価が下がったことに

○ 永本委員

常備消防費で、海部消防組合本部(牟岐町)が津波浸水区域にある。移転について協議は進めているのか。

○ 影治町長

移転場所は、牟岐町で考えてもらうことで一部事務組合の会議は終わっている。

○ 永本委員

事前復興計画策定は全町を対象とするのか。

○ 近藤消防防災課長

全町を対象としている。



文教厚生委員会

◆議案7号 B&G海 洋センター指定管理者 の指定

○ 中川委員

料金はどうなるのか、また人件費減少の根拠は。

○ 坂本由岐公民館長

平成28年度は現行料金で。人件費は、若い職員を配置するため当面は低く抑えられる。

◆議案26号 一般会計

○ 中川委員

平成28年度から18才までの医療費補助はどうなるか。

○ 島田保健福祉課長

県内の医療機関では、受給者証を見せるだけ。県外等の医療機関ではいったん支払い、役場で領収書により払い戻す。

○ 江本委員

社会福祉協議会に補助金を出しているが、現在のデイサービス事業はどうなる

のか。

○ 島田保健福祉課長

今年度から、軽度認定者は介護保険事業から外れるが、社会福祉協議会などの各事業所は地域支援事業として軽度認定者のデイサービスを行っていく。

○ 中川委員

扶助費で、児童会費やクラブ活動費など出さないのか。

○ 武田学校教育課長

個人的に必要保護児童のクラブ活動費は、計上していない。

○ 戒野委員

臨時雇用等の賃金について何人分と書けば、分かりやすいのをお願いしたい。

○ 磯野総務企画課長

分かりやすい表示ということで、検討させていたいただく。

○ 岩瀬委員

学校のガラス飛散防止フィルムは、この金額で危険な所すべて貼れるのか。

○ 武田学校教育課長

日和佐小は強化ガラスが入っている。日和佐中、由岐中、由岐小、伊座利校の避難経路にあるガラスに飛散防止フィルムを貼る。

○ 中川委員

体育館の屋根のどこを直すのか。

○ 住田社会教育課長

防水シートも含め、鉄のアーチ部分以外を全面やりかえる。



総合体育館

証明書の発行状況は。

○ 島田保健福祉課長

平成27年9月末で短期証71人、資格証明書0人。

◆議案28号 育英奨学金貸付会計

○ 戒野委員

学校を出て地元に戻り働く場合に、奨学金の返済免除や減額制度を作っては。

○ 影治町長

奨学金を受け、地元に戻り就職した場合の免除制度は今後研究したい。

◆議案33号 介護保険会計

○ 江本委員

介護支援事業の通所や訪問介護などのサービスは今までどおりか。

○ 島田保健福祉課長

全額補助対象の給付費から上限がある交付金に変わり、上限を超えたら町の一般財源から負担するが、要支援1・2の利用者にはかわった意識は無いと思う。

◆議案34号 診療所会計

○ 戒野委員

医師の賃金の内容は。

○ 岡本日和佐診療所事務長
日和佐診療所では所長と非常勤医師10人を見込んで

◆議案35号 病院事業会計

○ 戒野委員

医師給・医師手当・パート医師賃金・臨時職員はそれぞれ何人分か。

○ 岡本特定事業調整監

医師給、医師手当は常勤医3人分。パート医師は、昼間が5人、週2日が2人、当直が4人。臨時職員は10人。

○ 寺下委員

業務の予定量で、入院43人としているが、過剰な見積もりではないか。

○ 岡本特定事業調整監

開院時17人から現在27人になっている。リハビリができたので、今後増えると考えている。

◆議案27号 国保会計

○ 中川委員

滞納に伴う短期証や資格

補正予算審議

◆議案15号 職員給与の一部改正

○北山議員

人事行政運営等の状況（職員の退職管理・休業・人事評価の状況）の公表はどうか。

○儀野総務企画課長

退職管理は、退職後2年間役場への契約の強要を防ぐため違反者が何人といった内容。休業は、職員が休業している内容。人事評価は、人事評価をどのようにやっているか、その概略的な公表にしようと思う。

◆議案19号 平成27年一般会計補正予算

○戎野議員

道の駅の温泉について、白い灯台のように一般の人が有料で買うのか。

○小坂産業振興課長

一般の方も有料で、ポリ缶当たりの金額になる。他の事例を参考に使いやすい金額設定にできればと思う。

○向山議員

社協の会長が変わり運営に期待できると思うが、その内容を聞きたい。

○島田保健福祉課長

平成28年度末を目的に介護保険事業から離れ、軽度認定者から一般高齢者を対象とする介護予防・日常生活支援総合事業に移行する予定。



◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議案	議員	結果
報告第1号 道の駅の事業報告	全会一致	可決
議案第1号 税条例の一部改正		
議案第2号 過疎地域自立促進計画の一部変更		
議案第3号 新町建設計画の一部変更		
議案第4号 過疎地域自立促進計画策定		
議案第5号 定住自立圏の一部変更協定の締結		
議案第6号 玉厨子農村公園管理者の指定		
議案第7号 B&G海洋センター管理者の指定		
議案第8号 町道の認定		
議案第9号 町道の変更と廃止		
議案第10号 情報公開・個人情報保護・行政不服審査会条例制定		
議案第11号 行政不服審査法野関係条例制定		
議案第12号 城山交流施設の設置管理条例制定		
議案第13号 建設発生土受入条例制定		
議案第15号 職員給与条例の一部改正		
議案第16号 税条例の一部改正		

議 案	議 員	結 果
議案第 17 号 B & G 海洋センター管理運営条例の一部改正	全 会 一 致	可 決
議案第 18 号 子どもはぐくみ医療費助成条例の一部改正		
議案第 19 号 平成 27 年一般会計補正予算		
議案第 20 号 平成 27 年国民健康保険補正予算		
議案第 21 号 平成 27 年簡易水道補正予算		
議案第 22 号 平成 27 年介護保険補正予算		
議案第 23 号 平成 27 年診療所補正予算		
議案第 24 号 平成 27 年水道補正予算		
議案第 25 号 平成 27 年病院補正予算		
議案第 26 号 平成 28 年一般会計予算		
議案第 27 号 平成 28 年国民健康保険予算		
議案第 28 号 平成 28 年育英奨学金貸付予算		
議案第 29 号 平成 28 年介護保険予算		
議案第 30 号 平成 28 年簡易水道予算		
議案第 31 号 平成 28 年漁業集落排水予算		
議案第 32 号 平成 28 年公共下水道予算		
議案第 33 号 平成 28 年介護保健予算		
議案第 34 号 平成 28 年診療所予算		
議案第 35 号 平成 28 年後期高齢者医療予算		
議案第 36 号 平成 28 年水道会計		
議案第 37 号 平成 28 年病院予算		
発議第 2 号 森林・林業政策推進を求める意見書		

◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案	議 員 名											結 果	
	舛田邦人	岩瀬公昇	江本昇	北山朝彦	川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏		中川尚毅
発議第 1 号 岩瀬議長不信任決議（案）	×	除斥	×	○	×	×	○	×	○	議長	×	○	否決
議案第 14 号 定住促進対策条例の一部改正	○	議長	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第 38 号 阿部場外離着陸場工事請負契約	○	議長	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

議長の主な活動状況

(平成27年12月定例会～平成28年3月定例会)

2月5日 市町村トップセミナー

「どうなる日本の政治と経済」
橋本五郎氏

「地域再生と市町村の役割」

片山善博氏

2月9日

中央省庁要望 (海部郡・安芸郡
議長連合会)

「阿南安芸地域高規格道路早期
完成」

「一般国道55号整備促進」

2月25日

海部衛生処理事務組合定例会
専決処分(承認)・一般会計(可
決)等

海部郡特別養護老人ホーム町村
組合定例会 専決処分(承認)・
一般会計(可決)

海部老人ホーム町村組合定例会
専決処分(承認)・一般会計(可決)

海部消防組合定例会 専決処分
(承認)・一般会計(可決)

第67回徳島県町村議会定期総会

各郡地区提出の県への要望(承認)
阿南安芸自動車道の早期整備及
び一般国道55号の改善について
(海部郡要望)

3月1日

第67回徳島県町村議会定期総会

◆ 各議員の出欠状況 (平成27年12月定例会～平成28年3月定例会) ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…-

日付・会議等		議 員 名											
		舛田 邦人	岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	川尻 竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏	中川 尚毅
12月28日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
1月 6日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
12日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
18日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
20日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
25日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
26日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	×	-	○	-	-	○
27日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
29日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	×
2月 1日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
1日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○
3日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	×
8日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9日	議会広報特別委員会	△	-	△	○	-	△	○	△	○	△	△	○
12日	議会広報特別委員会	-	△	△	○	-	-	○	△	○	△	-	○
16日	全員協議会	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
19日	東みよし町議会研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
24日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26日	文教厚生委員会	-	○	○	○	-	-	△	○	○	△	△	○
3月 3日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△
3日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4日	議会報告会、意見交換会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

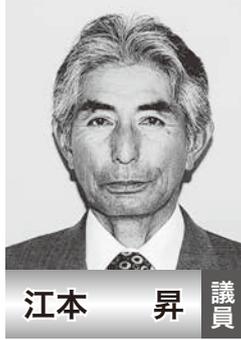
※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

一般質問

一般質問では、空き家の利活用・鳥獣害対策・公共施設の管理計画・1次産業の振興策・排水路の整備・臨時福祉給付金など、7人の議員が町の考えを質しました。

①空き家・古家の現状把握と空き家の利活用の問題点は

併 答 さらに調査を進め
空き家の利活用を進める



議員 江本 昇

本町の空き家・古家で、将来利用できる空き家は何戸、利用できず撤去する必要があるのは何戸か。また、空き家利用の財政的な問題点は何か。

●磯野総務企画課長
空き家状況は平成20年度に町内会の調査により325戸でその後は調査をしていない。平成25年から平成27年の3年間で40件の空き家を紹介し、活用については転入者がほとんどである。利活用については立地条件・トイレ、傷みによる修繕等、時間と費用が掛かり、所有者との問題もあり、今後住民の方々の協力を得ながら進めて行く。

●鶴木建設課長

今後、倒壊や衛生上著しく有害の恐れのある空き家調査を行い、老朽住宅解体支援事業による空き家の撤去や空き家改修など、地元住民の協力を得ながら環境改善を図っていく。



②ふるさと納税の現状は

併 答 返礼品の種類を増やし、加入者増を図り
財政改善につなげていく



質問

本町のふるさと納税について件数、金額はいくらか。

●磯野総務企画課長

平成27年度は約281万円、24市町村中10位であり、平成20年度からの納税総額合計は約850万円となっている。

特産品としては、日和佐ポン酢・焼肉のたれ・乾燥わかめ・乾燥青のり・青のり羊羹・流れ子の缶詰の6品である。

質問

ふるさと納税の返礼品を具体的に提示して、地域の産業活性化のために納税を利用できないか。

●磯野総務企画課長

今後いろいろな情報発信のありかたを工夫し、産業の振興にも活用できるように検討していく。

①合併10周年を迎え、次の20周年に向けてはどのように町財政を切り盛りしていくのか

弁 10年間の成果を踏まえ、さらに慎重な財政運営を進める



議員 町田 邦人

質問

合併10周年にあたり、全町あげての祝賀会・記念式典・記念イベント等を考えているのか。合併20周年に向けては、合併に対する補助金・交付税カットあるいは減額となり、また人口減に伴い税収・交付金等も当然少なくなっていく。今後、厳しい財政運営を強いられると思うが、どのように町を切り盛りしていくのか。

●影治町長

この10年間で財政は改善されてきた。合併に伴う地方交付税の優遇措置があったことが原因であると思うが、今後5年間かけて減少してゆく。33年度には4億円減少する見込み。人口減に伴う交付税も減少が予想される。しかし持続可能な町であり続けるには、今までも増して慎重な財政運営・行政改革が必要となる。人口減少対策・少子化対策・南海トラフ巨大地震への備え、地域の活性化など課題は山積みしておるが立ち止まることはできない。限られた財源を有効に活用、事業の優先順位をつけ、選択と集中の町づくりを進めて行く。

②鳥獣害対策に効果のあるゴム銃やエアガンの貸し出しや購入補助制度はどうか

弁 今後、きめ細かく鳥獣害対策に取り組む

鳥獣害対策



質問

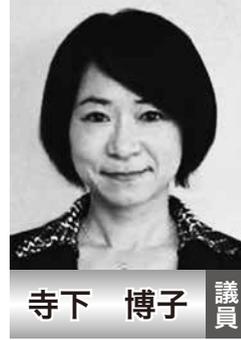
サルの撃退に効果のあるゴム銃やエアガンの貸し出し、無償貸与、または購入に際しては、費用の一部を補助する制度はどうか。

●小坂産業振興課長

電動エアガンの貸し出しを行ってきたが、十分に効果を発揮していないのが実情である。数もわずかで使えるのは4丁ほど。既存の「農山漁村持続活性化推進事業」の2分の1の補助に「特認事業」として、対象にできるのではないかと考えている。銃系のものでなく、爆音器などまで範囲を拡大して、追い払い効果と懸念材料等を拾い上げ、支援条件等を検討してみた。

①地域の实情やニーズに合った
施策の展開を

答 弁 住んでよかったと実感できるまちづくり
に向け、計画的総合的に取り組む



議員 寺下 博子

質問

持続可能な地域づくりを
行ううえで、今後について
の町長のビジョンは。

●影治町長

現在、町行政は人口減少、
少子化、南海トラフ巨大地
震への備え、地域の活性化
など様々な課題が山積して
いるが、これまでの歩みを
しっかりと踏まえつつ、若
者が地域で住むことができ
るような環境づくりに努め、
子育てしやすい安全安心な
まちづくりに向けてしっか
りと取り組む。

質問

今年度の具体的な重点事
業は。

●影治町長

地方創生交付金事業とし
て、水産振興・農業振興・
農山漁村活性化・商工振興・
観光関係等7項目。
その他の新規事業として、
医療費助成を高校3年生ま
で延長、道の駅向かい側の
高台整備、医療保健センタ
ーの建設、通学路の舗装工
事と飛散防止フィルム工事
を行う。

質問

「危機管理プロジェクト」
の設置から4年半、現在の
状況と動き、また「個別対
処危機管理マニュアル」の
現状や今後の取り組みにつ

いて伺いたい。

●山路副町長

プロジェクト専門部会の
組織変更を行い、「個別危

②公共施設等の管理計画の必要性は

事業の実施により、国からの有利な補助が
受けられるなどの財政的支援もあり、今後
も国の制度なども注視しながら、町の負担
をできるだけ抑え、健全な財政運営が図れ
るよう取り組む

質問

公共施設マネージメント
の視点に立った「公共施設
等総合管理計画」の策定時
期とその概要は。

●磯野総務企画課長

平成28年度中に策定予定。
概要については、「徳島県
公共施設等総合管理計画」
とよく似た内容で、今後協
議を進めていく。

質問

現在実施されている、長

機管理対処マニュアル見直
し部会」と「事前復興まち
づくり計画検討部会」とし
た。またマニュアルに関し
ては班編成を所属課ごとに

し直し、速やかに協議が行
えるようにしている。マニ
ュアルの作成目途について
は、明確な時期を示すこと
はできない。

れる。今後も国の制度など
も注視しながら、健全な財
政運営に取り組む。

質問

寿命化計画の策定状況、総
事業費について伺いたい。
●磯野総務企画課長
下表参照

質問

今後の財源確保はどのよ
うに考えているか。

●磯野総務企画課長

長期的かつ経営的な視点
で、計画的に施設の修繕・
改修・処分・統廃合を行う
ことにより、将来的に発生
する財政負担の軽減が図ら

長寿命化計画(事業)	計 画 期 間	総事業費
公営住宅等長寿命化計画	平成27年度～平成36年度	2億9,000万円
橋梁長寿命化修繕計画	平成24年度～平成53年度	5億円
恵比須浜漁港長寿命化事業	平成25年度～平成28年度	1億1,716.4万円
寺前ポンプ施設長寿命化事業	平成25年度～平成30年度	1億620万円
道 路 関 連	平成25年度からの計画修繕	約16億円

1 農業の6次産業化で地域の活性化を図れ

弁 事業予定者は、県・町の補助を
答 活用してもらいたい



議員 永本善次郎

質 問
農産物の生産、加工、販売の6次産業化が叫ばれて

久しいが、本町では目につくような成功事例はない。岡山県では、71歳の小さな農家のおじさんが畑を荒らすイノシシを捕獲し、自前の解体施設でジビエ肉として、地元のレストラン等へ供給し、また缶詰商品としても販売している。本町と周辺の町村の農畜

産物を活用して6次産業化を進める事はできないか、将来展望を示されたい。

●小坂産業振興課長

県は、「6次産業化・農工商連携支援事業」を設け、食品加工等の創出に必要な機械施設の整備に対し、経費の3割以内の支援をする。事業内容によって町も3割程度の上乗せ補助も考えている。具体的に6次産業化や農工商連携支援事業に取り組もうという方には伝えてもらいたい。

2 捕獲野生動物の解体処理場建設の取り組みは

弁 議員の提案については、担当課と議員で
答 相談し、前に進めていけたらと思う

質 問

捕獲動物（年間1300頭）の解体処理場の必要性が叫ばれて数年になるが実現していない。私は、処理

にあたる人材、建設場所の見通しを持っている。町長の見解を求める。

●小坂産業振興課長

県には、「阿波地美栄安

●影治町長

提案の解体処理施設については、担当課と議員で相談していただき、前に進んでいけたらと思う。

1 「産業施策検討懇話会」が休眠状態にあるが、初心にかえって、力強く再出発し、町産業再興の道を追求すべきと思う

弁 時間的タイミングもあり、開催出来ないが、今後もこの会を開いていく



議員 北山朝彦

質 問

「町再生」の熱い想いを持って出発した「産業施策検討懇話会」が、現時点では休眠状態にあるが、いかにして再出発するかを考えるべきだと思う。町にはいろいろな企画・計画（一次・二次総合計画、5年前の過疎地域自立促進計画等々）があり、その中には産業施策検討懇話会に直結する問題も多数存在しているが、それらが有効に展開していないものも見受けら

れる。そこで、産業施策検討懇話会こそこれら計画等の理解を町と共有していかなければならないと思うが町長の考えは。

●影治町長

産業施策検討懇話会は人口減少の中、美波町の産業界が元気にならないと活性化は見込めないと感じ、地場産業の農林水産業及び商工・観光業の5つの分野が集まり、今後10年の企画・政策を町と共に作るために始めた。

会は平成25年に3回、平成26年に3回行い、平成27年は時間的なタイミング等もあり開催出来ていないが、今後もこの会を開いていく。

質問

今後、産業施策検討懇話会を開催するとの答弁で安心した。

過疎地域促進計画で、現状と問題点、その対策と計画が載っているが、産業施策検討懇話会メンバーおよび町の職員ではどれだけの人がこれを知っているのか。

●影治町長

6回の会議の中で、過疎地域の計画を見せていないのでどれだけ知られているのか承知していない。次回開かれる懇話会では、資料として示したいと思っている。

●小坂産業振興課長

計画作りでは、できる可能性があるものや支援すればできると思うものを入れていく状況で、その意味では関係する職員と私、それにやり取りしてきた関係者しか把握していないと思う。

質問

計画については、懇話会

の中で話し合い5団体が必要とする事業に集約してもらいたい。期待している。

①臨時福祉給付金を申請していない人がいるが、その理由は

弁 所得の未申告や課税者の被扶養者で申告をしない等が考えられ、広報・再度通知等で告知している



議員 中川 尚毅

質問

臨時福祉給付金については、昨年より申請率（約90%）は下がった。対象者の1割の方が申請していない。申請をしなかった理由をつかんでいるのか。また、各課の連携は取れているのか。

●山本住民生活課長

臨時福祉給付金は町民税非課税者が対象。非課税課で非課税者と思われる人及び、未申告によって課税か非課税か分からない人を含め2318人に申請書を送った。

申請をしない理由は、所得の未申告あるいは課税者の被扶養者で申告をしない等が考えられる。各種広報や再度通知とも含めて、出来るだけのことはした。

②臨時職員の年休は基準どおりか

弁 1年契約なので、年休取得方法は問題ないかと考えている

質問

平成26年7月4日の総務省公務員部長通知では、臨時職員の年休が正規職員並みに取ることが出来るとしているが、本町の考えは。

●磯野総務企画課長

総務省自治行政局の通知は、臨時・非常勤職員や任期付き職員の任用や勤務条件を確保するための留意事項についてのものです、この通知に留意して、臨時職員募集時には雇用期間や勤務の内容及び賃金、労働時間その他の労働条件を示して採用している。有給休暇は半年で5日、年間では10日、労働基準法で定められた日数と同じであり、また夏季特別休暇3日、忌引きやインフルエンザなどの休暇制度もある。国の通知等に留意しながら適切な雇用の運

質問

労働基準法の年休は1年経過するごとに増えるが、本町では、2年目以降10日のままという状態は労働基準法違反ではないか。板野町では正職との格差をなくしている。労働基準監督署にも聞くべきだ。

●磯野総務企画課長

労働基準法では6カ月を超えた時点で10日となっているが、美波町では採用時に5日付与している。労働条件は事前に本人に提示し、年休は1年間に10日だけという雇用契約になっており、現在の年休取得方法について問題はないと考えている。

用を図っていく。

① 自立・自営の自伐型林業への政策と就業支援の取り組みは

弁 仮設住宅資材として
答 転用していくイメージを考えている



質問

新町計画の方針に大津波災害に備えて木材備蓄整備事業と町有林と製材業者の流通システムの構築を模索する、とあるがどのようなシステムを考えているのか。環境保全型の幅広い就労を生み出す自伐型林業を支援する自治体も増えてきているが、美波町として町有林への取り組み、施業への就業支援策を考えているのか。地域おこし協力隊の若者等を対象に林業実施研修を行い町有林管理と自伐型林業に取り組み、グリーンツーリズムや雇用創出を図って

いってはどうか。

● 小坂産業振興課長

備蓄システムについてはまだ固まったものではないが巨大地震対策として町有林と町有地（備蓄倉庫）を組み合わせ、角材や板材になったものを備蓄・循環させながら発災時に仮設住宅や復興住宅整備に資材として転用していくイメージのものを考えている。

日和佐森林組合（組合員数847人）に対して、農林業センサスで3ha以上の林業経営体数は142。林業に踏み出す人や組織が見受けられないのが現状である。

● 磯野総務企画課長

平成25年購入の大越町有林の植林事業も終了している。地域おこし協力隊を雇ってする仕事もなく受け入れは考えていない。

② 公共下水道、1号・2号排水路整備の進め方は、また牟岐ごみ焼却場の建て替えは

弁 公共下水道、排水路及び避難タワーの整備を進めたい
答 整備を進めたい

質問

公共下水道計画のうち未整備の地区を雨水対策事業との整合性を図りながら進めると新町計画に書かれて



弘法寺横の1号排水路

いるが過疎高齢化による人口減少が進む中で検証はなされているのか、合併浄化槽の促進も地域の実情に合わせた考えでいくべきではないのか。また、1号・2号排水路整備の進捗状況は。下水道

整備と都市計画道路計画を連携して並行しながら取り組むことで経費節減を図るべきでないのか。

● 鶴木建設課長

整備と都市計画道路計画を連携して並行しながら取り組むことで経費節減を図るべきでないのか。廃棄物処理施設である牟岐のごみ焼却場の建て替えが迫られ町長からの説明があつたが3町が連携して取り組むにあたり町としての考え、準備は。

また、1号・2号排水路整備の進捗状況は。下水道

1期計画95haのうち認可区域40ha)の第1期計画37haの整備は平成22年度に完了。残りの次期認可候補区域(日和佐浦・本村地区)は津波浸水、避難困難地区、重点密集市街地に指定されているが、平成28年度から津波避難タワーの実設計を行い、避難困難地域の解消と避難路となる道路下排水路の老朽化対策を進めている。

今年度1号・2号排水路の更新の基本設計を行い、現在、避難道である1号排水路の詳細設計を実施しており、平成28年度から家屋の事前調査、及び本件工事を優先して進めていく。

その後2号水路も整備予定。

● 影治町長

廃棄物処理場の中でごみ処理施設は全員協議会終了後で説明した通りの構想はない。来週3町長が集まることから牟岐町長から話があり、協議することになるかと思っている。

「あの答弁、ほのあとどないなっとん!?!」



議会だより第 38 号（平成 27 年 9 月定例会）

質問議員・質問内容

答 弁

現状と質問者の想い

永 本

「児童の農山漁村交流の体験推進を」

「担い手支援を企画サイドと協議する」
（小坂産業振興課長）

企画サイド（町長部局）との協議は進んでいない。

戎 野

「美波病院及び医療保健センター（日和佐診療所）の運営、院内・院外処方負担、通院バス運行、医療サービスの充実は」

「連絡バスを走らせる。タクシー料金助成制度の拡充を検討したい。診療待ち時間の軽減対策も検討したい」
（磯野総務企画課長）

検討課題は変わらず。以前より待ち時間が長くなり支障をきたしているので、サービス改善を望む。

北 山

「九月一日実施の施設防災訓練は毎年同じことの繰返して実効が上がっていない。「地域防災計画」を十分会得し、これに沿って実効のある訓練を行うべきではないか」

「「地域防災計画」に基づいて実効のある訓練を実施するようにする」
（近藤消防防災課長）

日常の対話の中で、「地域防災計画」に基づく避難訓練を実施すると確信している。

中 川

「診療所は診療代が高くなるが説明会はしないのか」

「説明会はしない」
（影治町長）

説明会・アンケートなどは実施していないが、個別に聞かれたら説明している。今後、特別委員会で質していく。

町に伝え住民に返す

議会だより報告会(日和佐地区)

平成28年3月26日



日和佐公民館

住民 14 人、委員全員、向山副議長

意 見	回 答
<p>議会だよりの発行が遅れないようにするには、みんなですればいいのではないか。</p>	<p>5月20日の臨時議会で委員が交替し5人に増えました。委員構成は次号に掲載する。 (議会広報特別委員会)</p>
<p>議会だより第39号(P16)回答の欄で、「公募するといろいろな問題があるので公募できない」と漠然と書いてあるが具体的にはどういうことか。</p>	<p>写真は公募すると紛失、破損、未返還が懸念されるから。記事はゆかりの皆様からもらった文章を掲載するスペースしか確保できなかったため公募できなかった。 (教育委員会)</p>
<p>美波病院への連絡バスには、由岐駅からは10便出ている。日和佐からは4便、午後5時から帰りの便がない。サービスの改善をすべきだ。</p>	<p>運行台数が1台のため限られたサービスにはなるが、利用状況も踏まえ、検討していく。 (総務企画課)</p>
<p>美波病院建設費で、建物が9億円から28億円に上がった要因を具体的に示してほしい。</p>	<p>整備方針では、建物の建設費は11億2千万円で最終は18億1千万円程度となっている。増加の要因は、設計に伴う構造や規模、労務単価、資材等の高騰など複数の要因による。 (総務企画課)</p>
<p>報告会に議長、副議長のどちらかが出席すべきではないか。</p>	<p>報告会への出席依頼は出しているが、編集会議への出席依頼も必ず出す。 (議会広報特別委員会)</p>
<p>大阪市は職員基本条例を策定している。美波町も策定してはどうか。</p>	<p>現在のところ策定の予定はない。 (総務企画課)</p>
<p>町の掲示板を高齢者が閲覧しやすい方法について、考えてもらいたい。</p>	<p>公告式条例の改正を議員提案したが賛成少数(4対7)で否決された。 (議会広報特別委員会)</p>

住民の生の声を、

議会だより報告会（由岐地区） 平成28年3月27日



由岐公民館

住民7人、委員全員

意 見	回 答
<p>国土交通省への要望や道の駅等の視察について、自費でなく公費なのでレポートの提出や報告をしなければ、全く住民には伝わらない。</p>	<p>委員会活動として関係機関への要望活動や視察研修について全てレポートを提出し内容を報告する。 (永本総務産業副委員長)</p>
<p>テレビ中継で経費が掛かるなどと、反対して透明性を下げようような行政は絶対おかしい、住民として実行してもらいたい。</p>	<p>費用対効果、経費等十分な調査・研究をして住民説明会を開催していく。 (テレビ中継特別委員会)</p>
<p>高齢化が進む中、長期療養型の病院が必要になるのではないか。また、患者の病院離れを防ぐ対策は。</p>	<p>療養型病床が必要なことは、認識しているが、美波病院単体ではなく、今後、県南部（海部・那賀・阿南）など広域で検討していくことになると思う。住民にとってやさしく信頼される病院を目指し、医療と看護の質の向上に努めることだと思ふ。 (美波病院)</p>
<p>由岐搬送班に定年近い人がいるが、救命救急士の免許を持った人を新たに雇うのか。</p>	<p>美波町搬送業務のあり方検討委員会の答申を受けて検討する。 (副町長)</p>

その他として

- ①「住民の質問に答えられる知識のある職員がいない」ということは町長が言うべきでない。
- ②議長の不信任案が出た時に、私傍聴しており、不信任案の説明や賛成討論は立派で理路整然と筋が通っていた。反対の討論は何を言っているのかわからず筋の通らない話であった。しかし、採決は反対が多数で賛成が少なかった。との意見があった。

お詫びと訂正

議会だより 39号の表紙写真で説明に「祖川さん」とあるのは、「西沢さん」の間違いでした。訂正してお詫びします。

意見交換会を開催

ることにより、議題を絞った意見交換会が行えることから、議題を絞って先ずは昨年8月に商工会と、また今年3月には森林組合と農業従事者の皆様との合同の会を開催しました。

その概要は次のとおりです。

【美波町商工会】

日 時 平成 27 年 8 月 27 日 (木) 場 所 日和佐総合体育館
参 加 者 役員・女性部・青年部 21 名

○ 商工会の状況説明

平成 25 年 4 月、由岐商工会、日和佐商工会が合併した。現在の会員数 277 人・県指導員 3 人・経営支援員 2 人である。事業は、①地域産業活性化支援事業として経営に関する指導（廃業・創業相談、記帳代行、労働保険・社会保険の相談等）をしている。②一般事業（地域の総合振興事業）として伊勢えび祭り、商工祭、うみがめまつり、ふるさと由岐まつり、由岐の産直市等を開催している。商業の振興に関しては、中元・歳末の大売り出し、トライアスロン・トレイルランニングに関する商品券を発行し活性化を図っている。青年部(28人)女性部(39人)の事業として街中再生プロジェクトの意見交換会等を実施した。

《議会への質問や意見・要望》

- ・テレビ中継ができない理由 …………… 経費において議員間で温度差がある等
- ・町民の意見をどのように聴いているか
- ・人口減少対策について …………… 子育て支援、高台整備などがある
- ・SOに力を入れているが、地元業者にも施策をお願いしたい
- ・テレビ中継化は早急に実施すべきである
- ・今後は議題を絞っての会合が必要
- ・藤岡邸購入の経緯 …………… SO場所探しと研修場所等として
- ・病院、診療所の薬の処方 …………… 院内と院外がある



町総合体育館にて

5年ぶりに議会報告会・

平成22年以降開催されていなかった議会報告会を5年ぶりに開催しました。

議会及び議員は、議会の活動や審議状況を町民の皆様に報告し、そのご意見をいただき今後の施策に生かしていくこともその責務です。諸般の事情によりその機会が持てませんでした。このたび、前回開催時の反省を下に各種団体との報告会を開催す

【日和佐森林組合・JAかいふ】

日 時 平成28年3月4日(金) 場 所 由岐公民館
 参加者 理事・監事 実行組長 認定農業者 青年農業就業受給者他 19人

○ 各組合の状況説明

【日和佐森林組合】

組合経営は思わしくない。実施事業は殆どが補助事業で、作業班職員も高齢化が進んでいる。職員の研修も必要と感じている。自分の山を守り、故郷を守っていくことは有意義と考えており、自伐型林業により組合員に少しでも利益が上がればと考えている。

【JAかいふ】

組合員の年齢は高齢化しその数も、また耕作面積も減少している。生産物取扱い額も減少している。特産のキュウリについては、海部郡3町、徳島県、農協により協議会を設置し、キュウリタウン構想を推進している。美波町でも事業への参加者を希望する。農業体験関係のフェアに参加し都会からの農業体験者や移住就農者を募集している。

《議会への質問や意見・要望》

- ・テレビ中継化は、費用対効果も考え慎重に検討してもらいたい。
- ・自伐型林業により生計をたてることは、所有面積等を考えると難しい。県内での林業事業の受注により事業展開をしているが、職員の育成にお金を掛けることが将来の経営に繋がる。やる気が最も必要である。
- ・耕作放棄地対策、鳥獣対策に取り組んでほしい。
- ・農産物の販売で道の駅をもっと利用すべきである。
- ・美波町の自然環境を生かし、国が進める「子ども農山漁村交流プロジェクト」を推進してほしい。

《アンケートの実施結果》

- 今回の会議については、有意義であったとの意見が多く、今後の要望や意見としては、
- ・林地、休耕地活用策を考えてほしい。
 - ・町民との対話を進めてほしい。
 - ・収入を上げる、楽しい、またやる気が出る施策を考えてほしいなどの要望や、トライアスロンなどは、地域に経済効果はあるのか等の意見がありました。



頑張る人!!

地域の魅力を掘り起こせ



平成 12 年、台風で倒れた杉の片づけをしているときに、ヤブ椿が多いことに気が付いた。そこで満石神社関係者の中で話がまとまり、町の産業課、県椿協会などの協力を得て、神社の周囲に椿苗を植え始めた。公園には 400 種 4,000 本の椿が植えられて、椿愛護会の会員によって手入れされている。

橋口会長は、周囲の山を買い取ったりして公園の将来の姿を思い描きつつ、毎日公園に通っている。(委員取材)



この度、正副議長の申し合わせ任期が終了するのに伴い、わたしたち議会広報特別委員 4 人は退任することになりました。住民の皆様には、「議会だより」を育て応援していただきありがとうございました。

想えばこの 2 年間、住民の皆様から「議会だより」の在り方や行政への提言など、忌憚きだんのない意見を頂き、住民と共により良い「議会だより」をつくってきたという自負もあり後ろ髪を引かれる想いもありますが、新たな委員でますます良い「議会だより」にしていくことを願いながら、最後の編集作業に努めました。

住民の皆様には、今後も「議会だより」をご愛読いただきますよう心よりお願い致します。

(編集委員一同)

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL: 77-3630へ)
 委員長: 北山 朝彦 副委員長: 永本善次郎 委員: 戎野 博・中川 尚毅